

## 東武鉄道 新型特急車両「SPACIA X」(スペーシア エックス) に バックシェル付きリクライニングシート〔プレミアムシート〕が採用

東武鉄道株式会社が製作を予定している新型特急車に、コイト電工株式会社(本社:静岡県駿東郡長泉町、社長:廣瀬仁士)のプレミアムクラス車用リクライニングシートが採用されることが決定しましたので、お知らせいたします。

### 《主な特徴・装備》

- ① 人間工学に基づく、クレイドル式電動リクライニング機構を採用。  
背と座をそれぞれ適切な角度で連動させることにより、どのポジションでもゆりかごで包まれるような安定姿勢を実現しました。
- ② 着座有効幅は500mmと鉄道用シート最大級の大きさをゆったりとした移動空間を提供。
- ③ 後部座席を気にすることなくリクライニングできるバックシェルを採用。  
後部座席の乗客への圧迫感を軽減しています。
- ④ 各座席に、コンセントや2枚折式大型インアームテーブルを設置。  
旅行やビジネスなど様々なお客様に対応いたします。
- ⑤ 各座席に読書灯操作とリクライニング操作のコントロールパネルを設置。
- ⑥ 各座席の背面(バックシェル)に、2つのコートフックを設置。
- ⑦ ネックサポート機能付き上下可動式マクラを採用。  
マクラの下部左右をV字に立て、頸椎を下方から保持することで、頭部が安定し、首や肩の疲労を軽減いたします。



搭載車両「SPACIA X」外観/内観(イメージ) 画像提供:東武鉄道株式会社